



# 中国新春の 版画と紙銭



辟

2階企画展示室

招

禅文化歴史博物館



邪

福



## 会期延長のお知らせ

ご好評につき展示期間を

**6月26日** **金** **9日** **金**

まで

延長させていただきます。(金)は閉館

# 2015

休館日

※4

土日祝開館日：7月26日(木)～7月31日(金)

中国を旅する時、さまざまな場所に貼られた印刷物に出会えます。家々の門扉のいかつい武将の絵、料理屋の「福」の印刷物、商店の商売繁盛の「財神図」、春節の前後には新年の幸福の訪れを祈る春聯や飾り物が溢れます。

また、寺社や道観を訪れば、日本のお賽銭の代わりに「紙銭」と呼ばれる、あの世専用の紙製のお金が用意されています。

今回の展示では年画や紙銭など、中国の人々の日常生活や年中行事の中に根付く紙の文化、印刷の文化をご紹介します。日本の禅寺における「聯」や「立春大吉」牌のルーツ、また浮世絵に代表される日本の伝統的な印刷文化のルーツを考える上での一助となるのではないかと考えます。

## 中国版画の世界

中国では、新年を迎えるにあたり、悪いもの（悪気）が入ってくることを防ぎ、良いもの（福）が入ってくるようお願い、家屋にさまざまな印刷物を貼ります。代表的なものは、家屋の入口である門などに貼られる門神や財神などの門画や赤い紙に縁起の良い言葉（吉祥語）を書いた春聯です。また、部屋の中を彩る年画や信仰の対象となる神相図なども多く見ることができます。

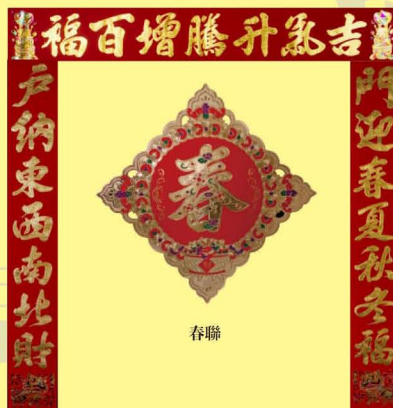


### 悪鬼も恐れる家の守り神「門神」



門神「神荼」「鬱壘」

### 春を招く 福を招く「春聯」



春聯

### 信仰の対象としての「神相図」



カマド神  
家屋の台所に祀られる



武財神「関羽」  
三国志の武将。財神として祀られる

### 部屋を彩る「年画」



財神叫門  
財貨と子宝の来訪を描いている



曹操赴宴  
三国志の一場面



天河配  
七夕の一場面

# 中国紙銭の世界

中国や東アジアの国々では、道観・仏閣への参拝、お葬式や春節・清明節の墓参り、個人の願掛けをする際に「紙銭」と呼ばれる紙で作ったお金を燃やします。1度に焼く枚数は数十枚から数百枚と、とにかく大量です。

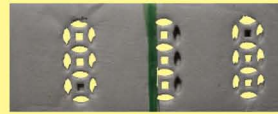
この紙銭を焼く習俗は、中国・台湾をはじめとする東アジアの国々ばかりではなく、日本においても沖縄県や横浜・神戸・長崎などでも現在も行われています。紙銭は、焼くことによりあの世（異界）にいる神仏、祖霊・死霊などへと送り届けられ、あの世でお金として使うことができると信じられています。紙銭は、送る相手により使い分けがなされるため、その種類もさまざまです。

今日でも東アジア各地で盛んに行われている紙銭の習俗をご紹介します。

## さまざまな紙銭—紙銭の種類—



複数の種類の金紙をまとめて販売している様子



冥銭



冥府通用札 (アメリカ 500ドル)



往生銭



金紙 (天帝)



金紙 (福徳正 <聖> 人)

### 神仏に送る金紙



冥銭 (1元銀貨)



冥府通用札 (中国 10元)

### 銭や紙幣を模した冥銭

## 死者に送るさまざまな物品



紙衣



紙衣

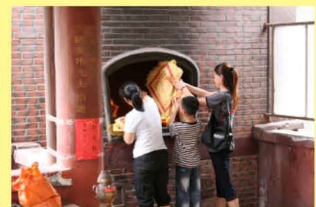


死者に送るさまざまな物品がデザインされた紙銭

## 紙銭の使い方



紙銭を焼く金炉  
(ベトナム・ハノイ)



紙銭を焼く様子 (福建省)



紙銭を売っている様子 (中国)